

クリスパタス菌 KT-11 株の研究成果について学会発表しました

株式会社キティー（代表取締役社長 朝木 宏之）は、平成 28 年 3 月 28 日から 30 日に開催された日本農芸化学会 2016 年大会において、IL-12 を誘導するクリスパタス菌 KT-11 株の活性成分の特性について発表いたしました。

クリスパタス菌 KT-11 株 (*Lactobacillus crispatus* KT-11 株) は、アレルギー発症モデルマウスに投与すると、アトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎を改善することが明らかにされています。また、それらの作用は、免疫細胞の 1 種であるマクロファージからの IL-12 産生を誘導することで、Th1/Th2 バランスを是正することによるとされています。しかしながら、クリスパタス菌 KT-11 株の IL-12 産生に導く成分は明らかになっていませんでした。

今回は、マウス由来マクロファージの IL-12 産生を誘導するクリスパタス菌 KT-11 株の菌体成分の特性付けを行いました。その結果、クリスパタス菌 KT-11 株の表層タンパク質が IL-12 産生を誘導する活性成分の一つであることが示唆されました。なお、発表の詳細は下記のとおりです。

学会名 日本農芸化学会 2016 年大会
場所 札幌コンベンションセンター（〒003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1）
開催日 平成 28 年 3 月 28 日（月）～ 30 日（水）
演題番号 2E075
演題 IL-12 産生を誘導する *Lactobacillus crispatus* 由来菌体成分の特性付け
演者 ○渡邊 樹、飛田 啓輔



■本件についての問い合わせ先
株式会社キティーバイオ事業部
東京都新宿区荒木町 5 番地 SEI ビル
TEL: 03-6457-7990, FAX: 03-6457-7992